

Q 誰もが健康でいられる
まちづくりとは

こばやし
小林ひとみ 議員



A 健康寿命延伸のため介護・
フレイル予防に取り組む

問 健康づくり・食育推進の取組は。

答 地域と連携してラジオ体操などの身近で継続的に実践できる取組を進めている。また、介護予防ボランティアなどの市民ボランティアの養成にも力を入れていく。食育では、講座の開催や食生活改善推進協議会と連携し、調理実習を行っている。

題は。

答 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人との交流や運動の機会が減少したこととうつ傾向につながっている可能性が分かってきた。このことから認知症予防に加えて社会参加を図るため、家庭用ゲーム機を活用したシルバースポーツの普及に努めている。また、ウォーキングなどに若い世代の参加を



促す取組も拡充した。
問 歯周病が原因で病気になる場合がある。歯周病検診の受診率は。

答 令和3年度の受診率は0.23%で、若い世代から検診していくことが必要である。受診率向上のため、乳幼児健診の際に保育つきの歯周病検診についてチラシを配布してPRしている。
◎その他の質問 がん教育の現状と課題について



Q 鶴ヶ島市運動公園内の
施設管理について

うちの
内野 よしひろ
嘉広 議員

A 適切に維持管理をしていきたい



土砂が堆積したビオトープ

問 水路、ビオトープ、太田ヶ谷沼について。

答 水辺については極力手を入れず、水辺の自然を生かした管理を行っている。なお、水辺のり面に生えた雑草などについては、状況に応じて除草作業を実施している。

問 ビオトープの土砂堆積の対策について。

答 運動公園の開設以来、手を入れてこられなかった部分であり、土砂や落ち葉などの堆積は、課題と考えている。予算の状況を見ながら適切に土砂などを撤去していきたいと考えている。

問 太田ヶ谷の沼の親水デッキについて。

答 現在工事をしているパークセンター側のデッキについては、今年度中に工事を終了する予定である。南側のデッキについては、老朽化などにより危険な箇所が生じており、令和2年度から立入りを規制している。なるべく早く対応するよう時期などを検討していく。

◎その他の質問

一 7月12日短時間記録的大雨と令和元年台風第19号との比較、検証及び今後の豪雨災害対策について

二 農業大学校跡地周辺整備の総合的ビジョンについて